

平成27年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表

2015.08.31

期間：平成27年9月～平成28年3月 / 対象技術職員：70名 / 総合テーマ：「神戸大学のミリョク」

◆全体研修	9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 9:40		10:00～ 11:00		11:10～ 12:10		13:10～ 14:10		14:20～ 16:00		16:10～ 17:10	
9月15日(火) 理学部2棟 Z201教室・Z202教室 (14日13:00～設営可)	受付	開講式 事務連絡	「講話」 学長 武田 康	会場準備	「講義1」 『電磁波による気象現象の計測と伝達』 都市安全研究センター 教授 大石 哲	会場準備	「講義2」 『忘れられたナシが現代によみがえる』 農学研究所附属 食資源教育研究センター 准教授 片山寛則	休憩	「講義3」 『体内で溶けるインプラントデバイスの開発研究』 工学研究科 教授 向井敬司	会場準備	「業務・技術報告」 工学系：2件、 医学・海軍・農学 の各系：各1件 (15分+5分)X5件(★)	会場準備	「全体会議」 『平成27年度近畿 地区技術職員研修 の詳細説明』	事務連絡

(*) 工学系：TaraNidhi Lohani「土質材料のせん断波速度計測法の高度化に関する研究」、片山雷太「機械系技術分野グループでの業務について」、
 医学系：水野直樹(情報センター)「附属病院の情報ネットワークシステムに見られる障害対策技術」、海事系：油木代一「MEPSの概要と支援業務について」、
 農学系：辻絵美(畜産系)「和牛の生体重と出荷時体重および枝肉成績との関連性」

◆分野別研修	コース番号 分野 『テーマ』 「会場」 (講師/担当) 等													
9月14日(月)	①	工学分野【実習】『ケガキ針の製作』	工学研究科 工作技術センター第2工場 (講師：大槻正人)											(工学研究科)
9月16日(水)	②	工学分野【施設見学】『環境に優しい住まいと防災技術を知る』 『大阪府 津波・高潮ステーション、安治川水門、大阪ガス 実験集合住宅NEXT21』	(担当：Tara Nidhi Lohani、橋高康介)											(工学研究科)
9月25日(金)	③	工学分野【施設見学】『日本のエネルギーを考える』	大阪ガス ガス科学館、神鋼神戸発電所 (担当：古宇田 由夫)											(工学研究科)
9月16日(水)、 17日(木) (2日間コース)	④	海事分野 『ものづくり - 鑄造』 1日目午前：【講義1】『ものづくりの基礎』(講師：福岡 俊道 教授) 【講義2】『鑄造とは』(講師：野村 昌孝 准教授) 1日目午後：【実習】『鑄造実習(バルブの製作)』(講師：鈴木 俊晴、野崎 伸夫、福岡 善作) 2日目【施設見学】午前：『株式会社ナカキン』 午後：『株式会社三共合金鑄造所』(担当：鈴木俊晴、野崎伸夫、福岡善作)												(海事科学研究科)
9月29日(火)	⑤	医学分野【実習】 『鍍銀法によるマウス脳神経繊維の染色・観察』	医学研究科 研究棟C セミナー室 / 染色室 (講師：崎浜吉昭)											(医学研究科)
9月30日(水)	⑥	医学分野【施設見学】『自然・生命・人間について考える』	J1生命誌研究館、京都大学総合博物館 (担当：薛 富義)											(医学研究科)
10月9日(金)	⑦	理学分野【実習】『PCR法を用いたアルコール体質検査』	理学研究科 (講師：古家主人)											(理学研究科)
11月中旬頃(★)	⑧	農学分野【施設見学】『ナシ・ブドウの品種選抜』	***** (担当：不断哲男)											(農学研究科)
11月中旬頃(★)	⑨	農学分野【施設見学】『兵庫県における水稲品種の動向とタマネギ栽培について』 『兵庫県立農林水産技術総合センター、淡路農業技術センター』	(担当：橋爪浩和、富士松雅樹)											(農学研究科)
11月中・下旬頃 (★)	⑩	農学分野【施設見学】『国産牛肉の流通 一出荷から販売まで』	『加古川食肉センター・株式会社ケーピーシー』 (担当：辻 絵美)											(農学研究科)
2月中旬～3月上旬 の1日	⑪	農学分野【***】『農学系集合研修』	『食資源教育研究センター』 (担当：寛 重文)											(農学研究科)

(注) 1) 初日の受講は必修とします。 2) 技術職員(★)は分野別研修を各コースから2日分選択とします。3) 基本的に分野別研修は全学技術職員(★)オープン化とします。
 4) 開講式は行いません。(★)技術職員：教室系技術職員(再雇用技術職員含む)

平成27年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分野別研修コース概要一覧

2015.08.31

コース番号 日程	(分野)『テーマ』 集合場所/実施場所 (受講者定員)	内容概要【担当講師】
① 9/14(月)	(工)『ケガキ針の製作』 工学研究科 工作技術センター第2工場/同左 (12名講師含む)	《実習》 神戸大学では、授業プログラムとして様々な実験・実習を行っているが、その一つとして、工学部機械工学科では、『鍛造』を課題として取り組んでいます。このテーマはなかなか他大学ではお目にかかることは出来ません。これは神戸大学のミラックの一つとして自負するところでもあります。この魅力を体験して頂きケガキ針の製作を通じて金属の性質を学ぶことを目的とします。 【講師：大槻正人 技術専門員】
② 9/18(水)	(工)『環境に優しい住まいと防災技術を知る』 大阪 阿波座駅(7番出口)/各施設 (20名担当含む)	《施設見学》 「大阪府 津波・高潮ステーション」を視察し、近い将来におこる確率が高いと言われている南海・東南海地震に備えるために、海面より低い大阪地域の津波対策について学ぶ。さらに、「安治川水門」現場を見学する。その後に見学する「大阪ガス実験集合住宅NEXT21」は、都市型集合住宅に焦点を当て、環境に優しい「住宅を目指した実験住宅」である。その見学を通じて、未来の住宅のあり方や、省エネルギー技術・システムについての知見を得る。 【担当：Tom Nidhi Lahani 技術専門職員、橋高康介 技術員】
③ 9/25(月)	(工)『日本のエネルギーを考える』 工学研究科 玄関/各施設 (20名担当含む)	《施設見学》 「大阪ガス ガス科学館」では、都市ガス・天然ガスに関する知識を深めるとともに、都市ガス製造所の見学を行い、地球環境の保全とエネルギーの有効利用について理解を深める。「神鋼神戸発電所」では、発電の仕組みを理解するとともに、神戸市の電力需要ピーク時の約70%を賄うことができる規模の石炭火力発電所を見学し、都市型発電所のあり方について学ぶ。 ・(午前)大阪ガス ガス科学館(大阪府高石市高砂3丁目1番地) ・(午後)神鋼神戸発電所(神戸市灘区慶浜東町2番地) 【担当：古宇田 由夫 技術専門員】
④ 9/16(水)、 17(木) 2日間コース	(海)『ものづくり - 鋳造』 1日目:海事科学研究科/海事科学研究科 2日目:海事科学研究科 海事博物館前/各施設等 (15名担当含む)	『ものづくり』のなかでも、もっとも古いもののひとつといわれる「鋳造」について学ぶ。本研修では、ものづくりと鋳造について講習を受ける。次に実際に鋳型を製作し、鋳込みを行い、簡単な鋳造製品としてバルブを製作する。その後鋳造工場を見学し、最新の鋳造技術を知る。 《施設見学》株式会社ナカキン(枚方市)、株式会社三共合金鋳造所(大阪市西淀川区) 【講義：福岡 俊道 教授、野村 昌孝 准教授】 【実習/見学：鈴木 俊晴 技術専門職員、野崎 伸夫 技術専門職員、福岡 喜作 技術職員】
⑤ 9/29(火)	(医)『銀鏡法によるマウス脳神経線維の染色・観察』 医学研究科 研究棟C東側 セミナー室/染色室 (10~15名担当含む)	《実習》 脳神経細胞と他の細胞との大きな違いは、細胞体から突起が出ていることです。樹状突起は外部からの刺激等による電気信号(情報)を受け取り(入力アンテナ)、軸索は受け取った電気信号を次の細胞に伝える出力装置です。脳全体では千数億個の神経細胞が存在し、これらの中で電気信号を発生し情報をやり取りすることにより思考・記憶・反射等を働かしています。この度の実習では古典的な銀鏡染色を行い、マウス脳における神経原線維と軸索の混れを可視化することにより複雑な脳神経伝達経路について考察したいと思います。 【講師：齋藤 吉昭 技術専門職員、藤 富義 技術専門員】
⑥ 9/30(水)	(医)『自然・生命・人間について考える』 JR神戸駅中央口改札前/各施設 (10~15名担当含む)	《施設見学》 午前:JT生命誌研究館(高槻市) 午後:京大総合博物館(京都市) 「JT生命誌研究館」の門を約10年振りにたたき、進化した新・生命誌 biohistory について学ぶ。生命はいつかして生まれたのか? 生物の進化はどのような過程を経て現在に至ったのか? 自然環境に対応してきた生物特有の仕組みはどのように獲得できたのか? などについて、生物が持つ多様性・全体性を意識しながら考察する。また、午後からは昨年度に引き続き、大学博物館「シラス第2陣」として、国内最大規模の標本数を誇る「京都大学総合博物館」に赴き、自然史 natural history や技術史 technological history 等に関する貴重な学術資料を観察する。以上、自然・生命・人間についてあらためて考える機会を持つことにより、今後の職務遂行の基盤を強化する一助とする。 【担当：藤 富義 技術専門員】

平成27年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分分野研修コース概要一覧

2015.08.31

コース番号 日程	(分野)『テーマ』 集合場所/実施場所 (受講者定員)	内容概要【担当講師】
⑦ 10/9(金)	(理)『PCR法を用いたアルコール体質検査』 神戸大学理学研究科A棟A332実験室 / 同左 (8~10名程度担当含む)	《実習》 本実習はインフルエンザ検査などにも利用されているPCR法を用いて、お酒への強さやアルコール依存症になりやすいかどうかを遺伝子レベルで調べる。 【講師:古家 主人 技術職員】
⑧ 11月中旬(★)	(農)『ナシ・ブドウの品種選抜』 *** / *** (8名担当含む、内5名農学予定)	《施設見学》 ナシ・ブドウの新品種導入のため、新品種を栽培している施設の見学をおこない、新品種の栽培方法や品種特性等について知識を深める。 【担当:不断 哲男 技術専門職員】
⑨ 11月中旬(★)	(農)『兵庫県における水稲品種の動向とタマネギ栽培について』 **** / 各施設 (8名担当含む、内5名農学予定)	《施設見学》 兵庫県における水稲品種の今後の動向について講義を受け、今後の作付けの参考とする。また、酒米試験地を見学し、水稲育種について知見を広める。さらに淡路農業技術センターにて淡路地域のタマネギ栽培について学び、同施設を見学する。 【担当:藤爪 浩和 技術専門職員、富士松 雅樹 技術専門職員】
⑩ 11月中・下旬 (★)	(農)『国産牛肉の流通 - 出荷から販売まで』 *** / 各施設 (8名担当含む、内5名農学予定)	《施設見学》 食肉の流通経路は、専用施設にて衛生上厳重に管理された中で行われるため生産者や消費者の目に触れる機会は少ない。本研修では、その専門処理を担う施設を見学し、特に「神戸大学ビーフ」として大学で飼養されている国産和牛(黒毛和種)の流通に関わる専門的な処理行程や衛生管理について正しい知見を得る。 【担当:辻 絵美 教養系技術職員】
⑪ 2月中旬~3月 上旬の1日(★)	(農)『*****』 *** / 食資源教育研究センター (*~*名、内*名農学予定)	《****》 農学系集合研修 ***** ***** 【担当:箕 重文 技術専門職員】

※(分野)工:工学分野、農:農学分野、医:医学分野、海:海事分野、理:理学分野 ※担当/講師の下線は、複数の担当/講師がいるコースでの担当代表者を示す。